

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する  
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校  
南古谷小学校 5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

# なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和6年8月30日発行

## 2学期の充実した学びに向けて

校長 馬場 雅史

38日間の夏休みが終わり、学校に子供たちの声が響いております。台風10号の影響が心配される中での2学期スタートとなりましたが、子供たちと共に楽しくて活気ある2学期にするためにさらに力を合わせてまいりたいと思っております。

8月は慰霊鎮魂の月であり、暑さの中でもどこか厳かな思いで過ごす時であると私は捉えております。そのような中で、8月8日午後5時前、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、関東の地でも大きな揺れを感じました。同日、気象庁は南海トラフ地震に係る初の「臨時情報（巨大地震注意）」を発表し、その夜の気象庁の記者会見は緊張感をもって報道されました。その日から1週間程は、政府や埼玉県、川越市など、それぞれの立場から防災に関する情報が発信され、各家庭でも防災グッズの点検や補充が行われたことと思います。学校では、施設設備点検や『学校事故・防災対応マニュアル』、『川越市立南古谷小学校防災タイムライン』等の再確認を致しました。折しも、9月1日は「防災の日」。1923年に発生した関東大震災に由来する日で、国民一人一人が災害に対する認識を持ち、防災意識を高めることを目的に設定されています。この日を含む1週間は、「防災週間」とされ、各都道府県で防災に関する意識啓発事業（訓練等）が展開されます。本校でも避難訓練を予定しております。暑さ対策も含め、日頃の備えが命を守り、安全・安心に繋がっていくことを子供たちとも確認したいと思います。

ところで、「20,12,13」の数にピンと来るでしょうか。この数は、第33回夏季オリンピックパリ大会で日本選手団が獲得した金、銀、銅メダルの数です。勝者のガッツポーズに勇気をもらい、敗者の悔しさに胸を打たれました。中でも、スケートボード男子ストリートで金メダルをつかんだ堀米雄斗選手の自分を信じた挑戦と、体操男子総合で金メダルをつかんだ体操男子団体メンバーの集中力を切らさず取り組む姿勢に心が奮えました。二つの逆転勝利に共通するのは、最後まで諦めず、粘り強く、自分がやれることを愚直にやり抜いたことにあると感じています。そこには「運」もあったと思いますが、「運」を呼び込むほどの陰の努力を重ねてきたからこそ、あの大舞台で自分を出せたのだと思います。過程において努力を惜しまず努力を重ねた人に「運」が働き、結果として、成功や成果、充実感に結び付いていくと信じています。

2学期は、運動会や音楽会、校外学習など「人間関係形成」に大きく関係する行事が多く設定されています。普段の授業だけでなく、これらの教育活動でも子供主体を目指したいです。その企画・準備の中では、個人の努力だけでなく仲間との協働にも力を注ぐ場面が多く仕組まれております。子供たちの頑張る姿をしっかりと捉え適切にフィードバックし、充実した学びとなるよう子供たちと向き合ってまいります。

QRコードは  
紙面をご覧ください。

欠席連絡は  
コチラから

